



1

新潟県村上市および胎内市沖における協議会（第4回）

11月7日
産業文化会館 多目的ホール

発電事業者が決定されてから初めての法定協議会が開催され、今後の協議会の運営と発電事業者による事業概要の説明が行われました。

また、構成員からの意見表明も行われ、その中で井畑市長は、「地球温暖化という大きな課題を解決するために、再生可能エネルギーの利活用推進が不可欠である。この地域が次世代のモデルケースとしての役割を果たし、他地域への影響を与えることが大きな意義を持つ」と述べるとともに、今後の事業進捗が着実に進むことへの期待感を示しました。



2

洋上風力発電事業者による陸上工事に関する事業参画機会説明会

12月4日 産業文化会館 会議室

市が洋上風力発電にかかる陸上工事への参画を希望する事業者に呼びかけて、発電事業者の村上胎内洋上風力発電株式会社※からその概要を説明してもらう説明会を開催しました。

同社の担当者からは、変電所を村松浜地内で建設することを検討しており、延べ床面積約300㎡の2階建て管理棟を建設することと、変電所から聖籠町までの約13kmの間で送電線の大部分を地中に埋設する計画について説明がありました。

市内事業者を中心に77人が参加し、参加者からは、工事に参画する事業者の採用方式や採用スケジュール、地元業者の優先度合いなどについて活発な質問があり、多くの事業者が参画に意欲を示していました。

※村上胎内洋上風力発電株式会社：洋上風力発電事業の事業推進を担うため、村上胎内洋上風力コンソーシアムの構成企業が出資して令和6年11月20日に設立されました。



3

村松浜地内への変電所建設検討

このほど、村上胎内洋上風力発電株式会社から村松浜地内への変電所の建設を検討していることが公表されました。施設概要や工事概要などの具体的な概要については、まだ明らかになっていませんが、今後情報が得られましたら随時お知らせしていきます。



イメージ図

今後も、市報等を通じて随時洋上風力発電事業についてお知らせします